

お腹の虫って、どうやって生きているの？ ～覗いてみよう腸管寄生虫の世界～

先生(代表者)	石渡 賢治(いしわた けんじ) 熱帯医学講座・准教授			
自己紹介	学生の頃から寄生虫学教室に出入りしていました。寄生虫学を通じていろいろなものが見えてくるのではないかと考えていました。予想は間違っていないでした。分かることが楽しく、実験が面白く、気がつくとうに残っていました。寄生虫学に限らず、いろいろなことに興味を持っています。			
開催日時・主な募集対象	平成25年7月26日(金)	(対象)	小学5・6年生 中学生	(参加数) 18名
集合場所・時間	東京慈恵会医科大学 1号館 7階実習室	(集合時間)	10時(受付開始 9:30)	
内 容				
地球上の生物は、自分で栄養を作り出して成長している物と、栄養物を食べている物に分けられます。栄養物を食べている生物の中に、他の生物の体に棲みながらその生物から栄養をもらっている物がいます。“寄生”という生活の仕方をしている生物です。“寄生”する虫を寄生虫と呼んでいます。寄生虫は僕たちの体の中にも棲みます。このプログラムでは、お腹の中で虫が、どんなふうに住んでいるかを見てみます。そして、寄生虫から体を守る仕組みについて考えていきます。 				
スケジュール			持 ち 物	
9:30-10:00 受付開始、開場			筆記用具	
10:00-10:20 開校式:挨拶、科研費の説明、オリエンテーション				
10:20-10:50 実習:サバのお腹の虫をひろってみよう				
10:50-11:15 講義:お腹の虫ってどうやって生きているの？				
11:15-12:00 実習:内視鏡による腸管腔に居る虫の観察、虫の回収			特 記 事 項	
12:00-13:00 昼食:研究者との交流、記念撮影				
13:00-13:30 講義:お腹の虫を退治する仕組み				
13:40-15:10 実習:虫の観察、虫の元気の良さをエネルギー量で測ってみる。				
15:20-15:50 クッキータイム:お茶、お菓子をいただきながら質問と回答。アンケートへの記入				
15:50-16:00 修了式:未来博士号授与			実際にサバのお腹を開いたり、ラットなどの実験動物を真近で観察するため、これまで生物の解剖などで気分が悪くなったりアレルギーが出たりした経験のある方は、事前にお知らせください。	
16:00～ 解散				

